

平新報

發行日 五日發行
 編輯室 山野邊庄吉
 印刷所 平新報社
 發行所 平新報社
 廣告料 五號十二字第一行
 一、部 定價 金壹圓
 送料 五圓

謹賀新年

平市五丁目
釜屋商店
 諸橋 久太郎
 諸橋 元三郎

平市二丁目
關内油店
 關内 正一

平市二丁目
大一屋商店
 根本 善吉

縣參事會
蓮沼龍輔
 平市田町

平市大町
諸橋敬一郎

平市一丁目
長瀬綾治郎

喪中年賀欠禮
 平市會議員
多田井笑次郎

平市古鍛冶町
 土木建築
佐々木健一郎

平市二丁目
柏原眞吾

平市土橋
原精一

平市鍛冶町
吉田伴吉

平市一丁目
 蒲鉾製造
藤寅

平市一丁目
綿引印舗

平市二丁目
長瀬延太郎

平市二丁目
大村一郎

平市二丁目
三井タクシー

平市二丁目
方圓堂高山

平市三丁目
 北海屋
皆川新一

平市三丁目
横山彰介

平市三丁目
なかや洋服店

平市三丁目
大勝園茶舗

平市三丁目
大黒屋勝次商店

平市三丁目
本丸ほん商店

平市三丁目
ホシ薬舗

平市三丁目
佐川洋服店

平市三丁目
 マルトモ書店
 マルトモ運動具店
 マルトモ食堂

平市四丁目
小野薬店

平市四丁目
 荒物商
伊勢屋商店

平市四丁目
關内薬局

平市四丁目
袋屋果實問屋

平市四丁目
百澤商店

平市四丁目
鶴屋商店

平市四丁目
新妻春治

平市五丁目
磐城建物株式会社

平市新川町
中野恒兵衛

平市新川町
吉田定太郎商店

平市南町
織田齒科醫院

平市南町
坂本米店

平市南町
芹澤豊志

平市南町
 タイトルミ
 壁材料
野内商會

平市南町
織田材木店

平市研町
吉村安次郎商店

平市研屋町
住吉屋本店

平市研屋町
炭屋旅館

平市二丁目
谷口

平市二丁目
越乃家

平市二丁目
 御料理
天ぶら

平市南町
 御料理
玉よし

平市田町
 御料理
八千代

平市田町
高久病院

平市仲町
山田文一商店

平市堂の前
平電氣鑄鋼所

平市堂の前
山田麻袋商店

平市堂の前
平製作所

福島縣石城郡養蠶獎勵會
石城郡自治要勢を出版する
 木田藤次郎氏編纂

石城電話番號便覽に就いて
 一、本社が仙臺通信局の認可の下に昭和七年以來刊行してある『石城電話番號便覽』は勿論本年に於ても出版致しませう。
 一、然るに東北新報の佐藤陽孝君は本社が右出版に對し中止したるが如き虚構の言辭を布れ廻して居るやに聞いて居る。
 一、又佐藤君は電話簿刊行について認可指令に接したと稱し廣告加入募集に奔走して居るが、電話局としては同一のもの一名以外に認可する筈なく無論平局としても同一のものを手續を採る如き無定見なことは致さまいと思ひます。
 一、右の様な事情でありますから虚構言辭に迷はされぬ様御願ひ致します。

平新報社
 山野邊庄吉



吉成劍突坊先生選

天 小金町 久田 狂水

兄さんのかけ膳据える雑煮餅 (評) 日本軍隊には貧富の差などある筈なく、盡忠報國の真意は將兵共に打つて一丸となること言はずもがなであらう。昭和十二年七月七日の深更、蘆溝橋前方の龍王廟で、演習中の我が豊後駐屯部隊が、廿九軍の馮治安部隊に不法射撃されて日支事變の發端をなして以來、支那側の不信、暴戻はいよいよ深刻重大化し、露忍自重我が不擴大方針は片つ端からくつがへされ、遂に斷乎たる應酬の態度を闡明するに至つたのであるが、これがため無道の支那に對し正義の師を進める皇軍の活躍はさることながら、後に殘された遺族に對しては涙なくして語られるものであるまい。されど戦捷の最大動力は戦後の人にあるので、上下一致國民戦後の活躍は實に涙ぐましいものであるではないか。これに勵まされた遺族中、弟妹共が兄の出征を兩親に代つての心盡し、神佛に手を合せ武運長久を祈願し、傍ら食事毎に影膳を据える美しき心情、これを見る兩親のまぶたに宿す玉容こそ會いものであらう。殊に新たな昭和十三年の初春を齎し、根強い餅を供へて目出度き凱旋を念願したと言つたら作者の言はんとしたことも大得意得されるであらう。

地 日暮里町 村上 亘亨

皇軍を想ふ戦後の春静か (評) 驕慢暴戾なる支那野蠻のために進撃しつゝある我皇軍の勞苦は言語に絶するものと察せられるが、その出征兵遺族に於ける戦後の静けりも亦涙ぐましいものであると思はねばなるまい。身を帯つて行くことを思はねばなるまい。茶にかへるに白湯を以てする程に緊張しつゝ、家内の和合親睦、生活安定活動を目ざして派身の精力を傾ける、此の精神と肉体に一分の隙をも胎さ

ぬ努力、出征皇軍を通して後顧の憂ひなからしめんとする事實を「春静か」として一段の力を持たしたる一句の活躍に氣をひかれた。長くも、我皇軍に於ては承継も、新年宴會の御行事を一切御取止め遊ばされるやに濡れ承継は、初春の静けさを表現された感激を作者に讀んで敬意を表する。

人 村上 亘亨

新市制やつぱり同じ街の市

(評) 本縣濱通りの要衝平町も、藩政時代と同じ藩主を戴く平窪村を合併して、昭和十二年六月一日輝かしく市制を施行された。凡そ平町の誕生と將來の進展こそ新興産業界の動向を正しく指すものであり、濱通り發展上に一新紀元を齎するものであらねばなるまい。東西一里、南北二里、人口年五百四十人以上の増加率を持つと言つたら、ホヽヽ躍進平町も難産を切抜けた大都市の貫録は充分認められるなど賞賛するものもあらうし、表面四位であつても實質内容の充實は一位をくだるまいと山をかけたなら、勝つて兜の緒をしめよ、眞の實行の軌ひはこれからだ、昔沼老將に叱られたか、も知らぬは、言ふ方が無理か、平町は凡ゆる自然の條件に恵まれ、石炭は無産物であり、農産物の集散地であり、同時にまた水陸交通の樞要地を占めてゐる。地の利は何一つとして欠けることはいない、これに加ふるに人心の和を得れば平町の發展は斯うしてよきものがある………と水をさされたら、よろしく上下一致が實現のため進進しやうではありませんか………と青沼翁に稍々心を和らげて貰ひてであらう。このところを川柳眼を以てしつつかとつかまへた作者の手腕を認め人位に推奨した所以であるのである。

秀逸

陣中の將士馬上で輪をとり 村上 亘亨
戦捷の春奉祝の湯が巻き 久田 狂水
新しい市民の上に照る初日 永山 餘花郎
社軒の安藤侯が市を眺め 同 人
市となつて名所に橋が一つ殖え 木田 谿水

佳作

平凡に暮れて巡査の生欠伸 村上 亘亨
塗り替へた看板市の字丈け書き 木田 谿水
日本の手が入る支那の平和境 久田 狂水
平凡な暮し夫婦は金を溜め 村上 亘亨
戦捷の祝宴緊縮の香も交り 久田 狂水
肅然と襟かき合す初詣で 佐川 十寸叟
日の丸で埋めた支那のお正月 永山 餘花郎
南京の大城壁に射す初日 同 人
縣武者が水筒の唇を酌み交し 同 人
ポーナスの不課長の嘘と出合ひ 村上 亘亨

正月が来てまた知る子澤山 佐川 十寸叟
元日を戦地で祝ふ大和武士 木田 谿水
初市の夕を雪が降り出し 同 人
南京が陥落南京豆が買れ 植頭 桃李
若水の桶の中にも初日の出 延 男
元日は知らぬ人もお目出度う 大 造
年始客初はめてから座り 二 三
あつさりと春を迎へて献金し 一 庵
元旦の朝は巡會も原隊きげん 久田 狂水
戦捷の景氣初荷を見る成勢 永山 餘花郎
陣痛の跡に大きな市が生れ 木田 谿水
平市となつて玉代またあがり 同 人

選者吟

正月といふに去年のまゝで居る
平凡に終へてもその日だけになり
戦争だ疲弊だ村を市に加へ
南京陥落の時
平海町 佐川 滿壽莊
大祝賀市は灯の海旗の波
大歡喜何と平氣で居らりようか

音信交換

拜啓 向寒の折納益々御健勝に被爲涉御慶び申上候
先般大阪鐵道局大阪電力事務所勤務を被命左記の通
轉居致候間乍御含當願上候 敬具
昭和十二年十二月
兵庫縣武庫郡尾木村尾林字御代開一五二
(省線甲子園口驛下車、西南徒歩約三分)
長 瀬 元 治 郎
喪中に付年末年始の御挨拶御遺慮申上候
昭和十二年十二月
東京市豊島區雑司ヶ谷町一丁目五一番地
桐 文 文 雄
勤先 北權太石油株式会社

内 小兒科
藤沼醫院
平市紺屋町
電話五〇七番



衆議院議員 星製藥會社社長 星	貴族院議員 金成通	植田町 鷺清昇	消防組頭 坂本龜太郎	法學士 植田 綠川秀男	喪中二付年賀欠禮 馬上一	植田物産會社 山崎登	植田町 森合芳男	植田町會議員 小野保	植田町 成瀨巴三	合資會社 常磐礦業社代表 箱崎義一	植田町 前田醫院	植田町 山田屋本館	山田信用組合								
泉村 佐々木三郎	泉前 小野藥店	清水屋本店 小名濱町 小野晋平	小名濱消防組頭 松本徳次郎	小名濱町 福來總十郎	小名濱町 柳内準平	小名濱町 高木忠治	小名濱町 小島源七	小名濱町 久保田醫院	小名濱町 長瀨金右衛門	小名濱町 澄川康哉	小名濱町 石井醫院	江名町 吉田厚	豐間村 豐間信用組合	鹿島村 新妻贊雄	鹿島村 黒木美顯	鹿島村 鈴木一男	鹿島村 鈴木根忠三	玉川信用組合 玉川村 駒木根忠三	玉川村 宮内久枝	玉川村 小泉宗雄	
玉川村會議員 長瀨彰義	玉川村 箱崎瀧三郎	玉川村 小瀧鑛泉	玉川村 玉川屋百貨店	磐崎村助役 佐藤八郎	磐崎村收入役 箱崎權重郎	湯本町長 比佐昌平	湯本町 石川徳壽	湯本町 高濱兼義	湯本町會議員 高萩佐久馬	湯本町會議員 若松修一	湯本町 鈴木康平	湯本町 比佐榮一	湯本町 芳賀良太	湯本町 鯨岡潔	湯本町 籠倉醫院	湯本町 四ツ谷酒店	湯本町 湯本信用無盡株式會社	湯本町 湯本藝妓屋組合	湯本町 湯本溫泉旅館組合	湯本町 湯本探炭株式會社坑務所	內郷村 磐城炭礦株式會社鑛業所
白炭礦會	高野乃湯泉 高萩忠太	高野乃湯泉 高萩コウ	好間村 小田吉治	好間村 日曹小田炭礦	好間村 職員交誼會	磐城中學 町村長會石城支會	平寫眞師會	石城郡銀行組合	石城郡內各小學校長會	平藝妓屋組合	平市二丁目 平庶民金庫	平運輸株式會社	平市 大日本電力平營業所	平市 片倉磐城製糸株式會社	喪中二付年賀欠禮 平市 堀江工業株式會社	平市 山崎合名會社	平市 平料理屋組合	平市 平三業保健組合	平市 郡山無盡株式會社平出張所	平市 郡山無盡株式會社平出張所	平市 郡山無盡株式會社平出張所